

活動報告

“富士山みがきあげ作戦”

富士山みがきあげ作戦とは、五合目以下の道路や公園等のゴミについて実態を調べ、どうすればゴミをなくせるか考えることにより、富士山を裾野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指す活動です。本年も団体や企業等の協力により、11回実施され、約300名の方々が参加されました。

平成16年度参加団体

(株)虎屋御殿場工場、キリンディステラリー(株)御殿場工場、国産電機(株)、国立中央青年の家、東京電力(株)沼津支店、富士山エコレンジャー東電チーム、富士山国際エコキャンプ村実行委員会、富士山人、マックスパリュ東海(株)、(五十音順)

参加団体企業の感想

○富士山人

富士山の西麓、朝霧高原で開催される「朝霧JAM」。10,000人を超える方々が日本全国から当地を訪れます。今回の「富士山みがきあげ作戦」は、ゴミの無い美しい環境で来場者を迎え入れ、朝霧周辺の美しい環境と富士山をPRしたいと願い開催されました。

当日は、富士宮地区特定郵便局の職員、本門寺重須孝行太鼓保存会様の皆様、朝霧JAMSのメンバーが早朝からの活動にもかかわらず参加してくださいました。ゴミはあまりないだろうと思っていましたが、なんと山人(やまんちゅ)ゴミ袋(推定40L)80袋もあってびっくり。内訳はカンなどの不燃物が30袋、ペットボトルなど可燃物が50袋もありました。他にも壊れた看板、車のマフラー、トラックに付いている大きな工具入れ、工事で使う三角コーンなどを収集しました。残念な気持ちを通り越し、悲しい気持ちを残し、活動を終わりました。



○富士山エコレンジャー東電チーム

東京電力に勤める富士山エコレンジャーで構成する当チームは、この夏、延べ11日間にわたり登山者へのマナー啓発や清掃活動を実施してきました。

“ゴミの持ち帰り”というルールは着実に浸透しつつあり、登山道沿いのゴミは以前と比べて格段に少なくなってきましたが、スカイライン沿いに点在する駐車場周辺は未だにポイ捨てが多い状況にあります。

そのため、今回メンバーを中心に社内から広く参加者を募り、駐車場や道路沿いの清掃活動を実施し、たくさんのゴミを回収することができました。

私たちはこの活動を通じて、ひとりでも多くの人に富士山の環境保全に関心を持ってもらい、“富士山をきれいにする活動”の輪を広げていきたいと考えています。



富士山みがきあげ作戦参加者を募集しています。関心のある方は事務局まで御連絡ください。

なお、富士山みがきあげ作戦の取組状況や参加団体・企業からの報告は、ふじさんネットワークホームページに掲載しています。ぜひ御覧下さい。

URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp>

活動報告書より

項目	意見	
ゴミが多い場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人目に触れない草木の陰、側道、側溝 ・ 林の中、公園、河川敷 ・ 歩道脇の土手や緑地など人目に触れにくいところ ・ コンビニ周辺 ・ 駐車場の車の陰 ・ 国道沿いの草むら 	
		
活動中気づいた点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道にタバコの吸殻がたくさん落ちていた ・ タバコの吸殻はゴミという認識があまりなく、ポイ捨てが多い ・ 林の中にはタイヤや物干しが落ちていた ・ 一般家庭から出たと思われるゴミが目立たないところに捨てられている ・ 駐車場脇などの目立たない場所のゴミが多い ・ ひとつゴミがあると「私も」といった感じで捨てられてしまう ・ 人が少ない場所や整備されていない場所では、ゴミ捨てに対する自制が働かずに捨ててしまう ・ 観光客や地域住民に対して環境保護のPR徹底を図ったほうがよい ・ 昨年と比べると、ゴミが減っていた ・ 清掃活動中に自分の持っているゴミを渡してくる人がいる ・ 登山客のマナーは比較的良好 ・ 回収したゴミの処分方法の検討 	
	ゴミを捨てさせない方法	捨てにくい環境を作る
マナー啓発		<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞をなくすことによって、ポイ捨てをなくす ・ 捨てることが恥ずかしいという雰囲気を作る ・ 声を掛け合う ・ 観光客や登山者にPRをする ・ コンビニでゴミ捨てをしないようPRしてもらう ・ ゴミの実態を多くの人に知ってもらい、考える場を提供する。 ・ シャトルバス内での車内アナウンスでマナー啓発を行う ・ 学校が休みの時に、子どもをボランティアとしてゴミ拾いに参加させる。
設備の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・ 看板を設置する ・ 山小屋などにゴミの分別回収BOXを設置し、登山者や観光客に協力を呼びかける ・ 登山道へのカメラの設置
強制力を持った対策		<ul style="list-style-type: none"> ・ 山のパトロール強化、巡回パトロール隊の創設 ・ 富士山エコレンジャーの権限強化 ・ 罰金制度の創設 ・ 観光客の入山規制
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃活動が重複しないように、スケジュール調整を行う ・ 五合目ではなく人の住んでいる地域を中心に実施する